

ことばの教室だより

白岡市立篠津小学校 平成30年6月号

最近「あ〜う〜」と声を出し始めた赤ちゃんを見ると、「これが発音の始まりだ」とつい口元をよく観察してしまいます。(職業病の1つかしら…) 自然に発音が身に付くと思ってしまうがちですが、発音について知れば知るほど、間違えずに正しく覚えられるのは不思議に感じてしまうほど複雑なことなのです。今月は発音についてお伝えします。

生兵法は大怪我の基

少しばかりの知識や技術は、それに頼ったり自負したりして、かえって大失敗をすることのたとえ



「この子ったら、いつまでも赤ちゃんことばなんだから！」
「小学校にあがるのに、こんな発音で大丈夫かしら？」

子どもを愛すればこそ、親の不安や焦りを感じる時があります。そして…



さあ、発音のお勉強ですよ！『さ』ってごらん。

違うでしょ！よく聞いて。『さ』

違う、違う！『さ』って言うだけなのよ。『さ』って。さあ、もう1度。今度はちゃんと言うのよ。

もう！この子ったら！！いつまでたってもできなくて困るわ。

このようにして直る発音ならよいのですが、これでは直りません。親子共に困ってしまいますよね。



発音を学ぶ環境

発音が育つにも発音を学び直すにも、『心』と『耳』と『口』がバランスよく育っていることが大切です。とりわけ、大人は子どもの心が傷つくことに一番気をつかわなくてはなりません。『心』から全てのことはスタートするからです。発音にとらわれ過ぎると、子どもの『心』をおろそかにすることになりかねません。子どもが安心して学び直せる環境を整え、心を支えていきましょう。

聞きたい心・話したい心



耳の動きが育つ

口の動きが育つ

音を聞き分ける力が育つ

強い筋肉・巧みな動きが育つ

正しい発音が育つ

餅は餅屋

餅は餅屋のついたものが一番おいしいということから、どんなことでもその道の専門家にまかせるのが一番良いということのたとえ

子どもの発音の覚え間違い方を調べるにも、『耳の動き』や『口の動き』の様子を調べるにも、それなりのテクニックがあります。調べた結果に基づいて発音の学び直しを手伝うにも、やはりテクニックがあります。

「病気の時は…」「火事の際は…」「肉を買うには…」「野菜を買うには…」。餅は餅屋に買いに行けるのが、親の子育てテクニックです。

ことばの教室ではいつでも相談を受け付けており、課題の把握とこれからの見通しをお伝えすることができます。必ず通級することになるわけではなく、相談のみの対応もあります。「そのうちに…」「もう少し様子を見てから…」と心配を先送りせずに、お気軽にご相談ください。

担任の先生にご相談いただいても、ことばの教室へ直接電話をしても、どちらでも大丈夫です。



保護者のお手紙

3月にことばの教室を卒業したお子さんの保護者の方に感想をいただきました。

今迄大変お世話になりました。Aは1歳6か月の検診で、出る単語の少なさを指摘されて、その当時住んでいた市内のB学園を紹介され、受診したのが始まりでした。その当時通っていた保育園では、会話がうまくできないので女の子同士のおままごとでは遊ばず、あまり言葉を使わない遊びを好む傾向になると聞き、心配した事を思い出します。

就学時検診の頃を機に、ことばの教室へ幼稚園の年長の頃から通わせてもらいました。シの発音を「風の音」に気をつけながら家でも一生懸命練習した初期の頃が懐かしいです。

「幼稚園ではあまり話すイメージがなかった」とお友達のお母さんから言われましたが、小学校に入ってからどんどん話せるようになりました。音読が大好きで、好きなお話はよく大きな声で読んでくれました。ことばの教室に通って、自信がついて、Aのよい面をたくさん知ることができました。

初めての事が不安で心配な子どもですが、先生には本当に自信をつけて頂いたと思います。親の私もいろいろとアドバイスを頂き、本当に感謝しています。

どうもありがとうございました。

Aちゃんが1年生の時に書いてくれたお手紙です。私のパワーのもとになっています



子どもたちに最近のニュースを書いてもらい、壁面に掲示しています。



随時受け付けています！

白岡市教育委員会
0480-92-1111 (代表)
篠津小学校ことばの教室
0480-91-0017 (直通)

